

加速器科学国際育成事業
スクール等の開催及び大学等の活動支援
令和5年度募集要項

1. 趣旨

高エネルギー加速器研究機構（KEK）は、我が国のみならずアジア地域における加速器科学及びその関連分野の中核拠点として欧米とも連携しながらこれらの分野の発展に貢献してきました。加速器は、基礎科学の枠を超えて医療や産業利用にも展開され、また、欧米はもとより、アジア諸国においても急速な発展を遂げています。日本が加速器科学における国際競争力を維持し続けるためには、高い専門性と広い視野並びに国際的通用性を持つ若手研究者を育成することが急務であり、KEK は加速器科学分野の COE として、当該分野の発展と人材育成に主導的役割を果たすことが期待されています。

KEK は、未来を担う人材の育成を重要ミッションの一つとして掲げており、当該ミッションを推進するための基幹事業として、加速器科学国際育成事業（以下、「本事業」という。）を令和4年度から立ち上げ、本事業下において、多様なプログラムを総合的に推進するための専任の組織として、加速器科学国際育成事業推進室（以下、「推進室」という。）を設置しています。

推進室が実施する取組の一つに、大学、高等専門学校等（以下、「大学等」）と連携し、長期的・安定的な人材輩出や加速器科学及び当該関連分野の持続的な発展に貢献することを目的として、スクール等の開催及び大学等の活動支援があります。

KEK は、大学等における活動を支援するため、大学等がそれぞれの資金や人材、科学技術力をマッチングさせて連携する提案を以下のとおり募集します。新しい魅力的な提案を期待します。

2. 募集する提案区分

（1）スクール等の開催

加速器科学及び当該関連分野に係る人材育成を目的とした次の（ア）～（オ）全てを満たすスクール等を対象とします。スクール等には、集中講義形式のほかインターンシップでの開催も含まれます。なお、開催地は、国内外問いません。国際的なスクール等、国内向けのスクール等いずれも対象となります。また、対面開催に限らず、オンラインでの開催も対象とします。

（ア） 研究人材の育成、資質向上を目的としているもの

（イ） 加速器科学、加速器を用いた実験的理論的研究分野及び関連する基盤技術分野に関するものであること

（ウ） 日本国内の高校生（高等専門学校1～3年次含む）、日本国内外の学部学生（高等専門学校4～5年次及び専攻科1～2年次含む）、大学院学生、若手の研究者及び技術者を対象としたものであること（対象は、いずれか一つでも複数でもよい）

(エ) 令和5年度内に開始し終了すること

(オ) 以下のいずれかに該当すること

1. 開催タイプ	KEK が主催又は共催するもの/KEK 以外が主催するものへ支援するもの
2. 派遣タイプ	KEK 以外の機関・組織が主催するスクール等へ受講生を派遣するもの

(2) 大学等にて企画・実施中（又は企画・実施予定）の人材育成

KEK の持つ加速器技術等を有効に活用して行うことにより、内容がより充実し、加速器科学の発展への貢献が期待される活動を対象とします。ただし、スクール等の開催は含みません。

例) 加速器科学の講演会開催（大学・KEK-day など）、加速器科学講義の開設、加速器科学に関する教育コンテンツの作成（VR 教材技術の開発、加速器科学教科書の制作等）、遠隔診断技術（telediagnosis）の要素技術開発、超高耐電圧素子（サイラトロン等）の要素技術開発、超小型&大強度加速器の要素技術開発、医学・工学・生化学などとの分野融合、機構-大学等-地域（企業）を結ぶ産学連携など。

3. 申請資格

日本国内の国公立大学法人、私立大学、高等専門学校又は文部科学省所管の法人に所属し、研究に従事する者。ただし、「2. 募集する提案」（2）については、高エネルギー加速器研究機構に所属する者は除きます。

4. 申請要件

終了後に受講者に対する追跡調査に協力することが申請要件となります。追跡調査の概要は以下のとおりであり、詳細は採択時にお知らせします。追跡調査の実施期間は、令和9年度までとします。

《追跡調査》

本事業ではその成果を測るための評価指標として、（1）受講者の進学、就職状況及び（2）受講者による研究成果の発表数を定めています。採択された提案の受講者を対象に追跡調査を行います。

（1）受講者の進学、就職状況

調査対象：本募集要項「2. 募集する提案区分」の（1）スクール等の開催において、（オ）「2. 派遣タイプ」に該当する場合は、経費支援を行った受講者を対象とし、それ以外の提案は、原則全ての受講者とする。

調査方法：アンケート調査による。

（2）受講者による成果発表の発表数

調査対象：大学院学生以上の受講者とする。

対象となる成果：

（ア）参加したスクール等の分野に関連する成果の発表であること

(イ)発表形態は、学術論文、学位論文（修士、博士）、著書、プロシーディングス、学会発表（口頭、ポスター）等とする。

調査方法：

原則、ORCID 上の情報を基に成果発表数を調査する。アンケート調査による場合もある。

協力内容：

申請者は、①参加者に ORCID での調査協力の依頼をし、推進室から ORCID への登録依頼及び ORCID アカウントに推進室が情報の書込み・読込みをする許可を得ること。(参加スクール名の記載がなかった場合には、推進室で該当の ORCID アカウントに参加スクール名の情報の書込みを行うことがあるため。) ②ORCID 上へ参加スクール名の追加を依頼し、ORCID ID を推進室へ通知すること。推進室は、ORCID 上の情報を基に成果発表数を調査するが、アンケート調査による場合もあるため、③各スクール主催者は、その旨を受講者へ周知するとともに、受講者の氏名、メールアドレスを推進室へ提供すること。

5. 支援内容

本事業により支援する内容は以下のとおりです。なお、支援経費の執行は、申請者が作成する執行計画に基づき、申請者の機関にて経費を執行してください。経費執行については、その機関の会計規程等に従って執行してください。ただし、本項「○運営支援」(1) スクール等の開催で運営支援に申請する提案については、本機構にて経費執行を行います。

○経費支援

経費区分	提案区分	
	(1) スクール等の開催	(2) 大学等にて企画・実施中（又は企画・実施予定）の人材育成
物件費	○	○
旅費（受講者、講師、運営スタッフ）	○	○
謝金（短期アルバイト含む）	○	○
その他経費①(印刷製本費、通信運搬費等)	○	○
その他経費②（会議費（酒類不可））	○	×
その他経費③（エクスカージョン経費）	○	×
人件費	×	×
成果発表のための学会参加旅費	×	×
施設・大型設備整備に係る経費	×	×

○運営支援

(1) スクール等の開催

申請のあった提案の中から1件のみ、推進室(1名)によるスクールの準備・開催の運営支援を行います。このスクールを「**KEK-IINAS スクール**」と名付けます。本募集要項「2. 募集する提案区分」の(1)スクール等の開催、(オ)の区分で「1. 開催タイプ」に合致し、経費支援も申請しており、スクール名に「KEK-IINAS スクール」と付けることが可能なことが申請条件になります。

(2) 大学等にて企画・実施中(又は企画・実施予定)の人材育成

本機構からは、必要な人的・技術的協力を行います。

6. 申請方法及び申請時の留意点

≪申請方法≫

以下のURLより申請書をダウンロードの上、申請してください。申請書は電子メールにてお送りください。

<http://www2.kek.jp/kokusai/iinas-nx/boshu/r5forms.zip>

≪申請書提出先≫

高エネルギー加速器研究機構

加速器科学国際育成事業推進室

Email: iinas-nx_secretariat@ml.post.kek.jp

≪申請書提出期限≫

令和5年1月10日(火) 17時必着

≪留意点≫

(1) 申請書の作成にあたっては、あらかじめ各関係者(KEK 連携担当教職員含む)と調整の上申請してください。

(2) 加速器科学国際育成事業は、個々の研究者のテーマではなく大学等が企画・実施する取組に対して連携・支援するものであるため、学長名や部局長名等による送り状を添えて提出してください。送り状の様式は、以下よりダウンロードください。申請者が機構外に所属するもの場合は、必ず大学等の事務局を通じて提出してください。

<http://www2.kek.jp/kokusai/iinas-nx/boshu/r5forms.zip>

(3) 申請者が機構外に所属するもの場合は、以下の委託契約書テンプレートを申請前に必ず大学等の担当事務局に確認してください。

http://www2.kek.jp/kokusai/iinas-nx/boshu/r5keiyakusho_template.pdf

(4) 「研究機関における公的研究費の管理・監査のガイドライン(実施基準)」(令和3年2月1日改正)に挙げられる不正等により、国が実施する競争的資金へ応募が中止になっている方は本

事業への申請はできません。

7. 審査基準

- (1) 本募集要項「1. 趣旨」及び「2. 募集する提案」に沿った提案であること
- (2) 提案の実施内容が具体的であり、十分な準備がなされていること
- (3) 本事業による経費支援があることで提案の実施内容が充実し、より高い人材育成効果が得られると期待されるもの
- (4) 申請者が本事業（加速器科学総合育成事業及びIINAS事業含む）における採択歴がある場合、過年度までの提案内容からの改善・工夫がなされていること

なお、(1) スクール等の開催において、経費支援及び運営支援（「KEK-IINAS スクール」）への申請に関しては、上記に加え、以下も審査基準とします。

- (ア) 事務的な運営支援があることで、提案の実施内容が充実し、より高い人材育成効果が得られると判断されるもの
- (イ) 支援を必要とする事務業務が明確であること
- (ウ) 「KEK-IINAS スクール」への採択歴

※ 「KEK-IINAS スクール」は、1件/年とし、加速器科学及び当該関連分野において多様な分野のスクールを支援していく予定です。

8. 審査方法及び審査日程

提案の採否は、本機構に設置された加速器科学国際育成事業運営委員会において、審査を行います。書類審査に加え、ヒアリングが必要と判断された場合、令和5年1月中旬までに、申請者に連絡します。ヒアリングは、1月中に行う予定です。

審査結果については、①令和5年2月下旬（予定）に提案の採否について通知し、②令和5年3月末日までに配分額について通知します。なお、提案の採否については、代表者と事務担当者に通知します。

9. 採択後の手続き

(1) 実施計画書（推進室指定様式）の提出

採択通知とともに送付する「実施計画書」に必要事項を記入のうえ、電子メールにて採択通知受領後2週間以内に提案書に記載のある事務担当者を通して提出してください。

(2) 契約書の締結（※本機構外の申請者のみ）

提出された「実施計画書」の内容を確認したうえで、事務担当者に連絡をし、令和5年5月までに契約書を締結します。

(3) 本機構からの支援経費の支払い（※本機構外の申請者のみ）

契約書を締結後、実施機関が発行する請求書を元に行います。

(4) 進捗状況調査

令和5年10月中に進捗状況について調査を行います。進捗状況調査の内容、方法、時期等の詳細については、別途事務担当者に通知します。

(5) 実施報告書（兼収支決算報告書）の提出

別途送付する「実施報告書（兼収支決算報告書）」を作成し、電子メールにて終了後1か月以内に提出してください。

10. 経費の返納

支援経費は、3月末までに執行額を決定してください。経費に不用額が生じる場合は、2月末までに不用額報告書を提出してください。報告書をもとに本機構より返還請求書を発行しますので、4月末日までに返還してください。この場合の振込手数料は貴学の負担になりますので、ご注意願います。

11. 成果公表等について

(1) 研究成果を公表するときは、その論文、報告書等に本機構の加速器科学国際育成事業で支援を受けた旨を明記してください。

日本語表記：加速器科学国際育成事業(IINAS-NX)

※全角。(IINAS-NX)は、大文字半角とする。なお、カッコも含め半角とすること。

英文表記：International and Inter-institution Network for Accelerator Science to Next Generation(IINAS-NX)

※全て半角を用い、IINAS-NX 大文字半角とすること。

(2) 本事業による支援を受けた提案は、上記事業名または IINAS-NX の公式ロゴを公的な文章、掲示物等に記載すること。

12. 問合せ先

高エネルギー加速器研究機構

加速器科学国際育成事業推進室 宛

Email: iinas-nx_secretariat@ml.post.kek.jp / 電話：029-879-6260

HP: <http://www2.kek.jp/kokusai/iinas-nx/boshu/index.html>